

会 議 録

会議名 (審議会名)		第43回相模原市地域包括支援センター運営協議会		
事務局 (担当課)		地域包括ケア推進課 電話042-769-9231 (直通)		
開催日時		令和6年1月26日(金) 午後1時30分～3時		
開催場所		ウェルネスさがみはらA館7階 視聴覚室		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)		
	事務局	14人(地域包括ケア推進課長ほか13人)		
	その他			
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 全国統一評価指標による地域包括支援センター等の事業評価について</p> <p>(2) 地域づくりについて</p> <p>・第8期相模原市高齢者保健福祉計画期間における地域ケア会議地域づくり部会の取組報告と第9期相模原市高齢者保健福祉計画における圏域別計画について</p> <p>(3) 相模原市地域包括支援センター運営方針(案)について</p> <p>3 報 告</p> <p>(1) 地域づくり部会から地域包括支援センター運営協議会への提案について</p> <p>(2) これからの短期集中予防サービスについて</p> <p>(3) 相模原市地域のおでかけサポート活動報告会について</p> <p>(4) 相模原市地域包括支援センター運営協議会委員の推薦依頼等について</p> <p>(5) 第9期相模原市高齢者保健福祉計画(案)について</p> <p>4 閉 会</p>			

審 議 経 過

1 開会

2 議題

事務局より資料に基づき説明を行った。

(1) 全国統一評価指標による地域包括支援センター等の事業評価について

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(穂刈委員) 自己評価結果について、評価の低い地域包括支援センター（以下「包括」という。）は、地域ケア会議の評価結果が低いと思うが、ヒアリングはいつ行うのか。また、どのような指導をする予定か。

(事務局) 前期はすでに実施しており、後期はこれから実施予定で、評価の低い項目について、改善するよう指導します。

(水上会長) 地域ケア会議の評価が低くなっている原因など、具体的に説明できる事項はあるか。

(事務局) 地域ケア会議は、地域づくり部会と個別事例部会で構成しており、地域づくり部会は概ね予定どおり開催しているが、個別事例部会は取り上げる事例がなく開催出来ていない包括もあります。他自治体の情報提供など、必要な支援をしてまいります。

(穂刈委員) 地域ケア会議の評価は令和3年度から徐々に上がってきているが、地域ケア会議がもっと活発化するように支援してほしい。

(2) 地域づくりについて

・第8期相模原市高齢者保健福祉計画期間における地域ケア会議地域づくり部会の取組報告と第9期相模原市高齢者保健福祉計画における圏域別計画について

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(坂本委員) 今後、後期高齢者が増加し、その半分が介護保険を利用するというデータがあり、デイサービスなどを利用していくと思うが、施設が拡大していくとは考えにくく、多くの方が在宅介護になると思う。そうなる訪問介護や訪問看護、訪問診療などを利用することとなり、医療・福祉従事者が自宅を訪問するようになり、駐車場の確保が難しくなると思う。地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）としては、まちづくりのハード面として10年先を目指し、医療・福祉従事者の訪問時の駐車場の確保に取り組んでいる。主に個人の空いている駐車場や施設、企業などをお願いをしながら行っているが、看板を設置するなど無料では出来ない。地域ケア会議の会議費などは一切活用することが出来ないため、将来的に活動費を活用させていただきたい。

(事務局) 既に横山地区で活動費として、駐車場の目印となる看板等の経費に活用されています。

(坂本委員) 最大の課題は、個人の駐車場を借り、接触事故などが起きた場合の対応である。原則は自動車保険で対応という考え方だが、その他に考え得る手立てはあるか。

(事務局) 本取組はボランティアベースで進めており、利用者の方には、事故やトラブルの可能性について理解していただいた上で参画していただいています。地域づくり部会では、場所の提供やマッチングを中心に行っており、どなたでも自由に使用して良いという形は難しい状況です。

(水上会長) 駅から離れた地域で特に確保が難しい状況がある。常に駐車場が空いているところはそれほどないが、大島地区にある団地では訪問介護用として空き駐車場を確保していただいているところもある。そのような取組や補助などが、今後進展していくことを期待する。

(3) 相模原市地域包括支援センター運営方針(案)について

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(坂本委員) 包括の個別業務が31項目、事業間連携が5項目、高齢者の重点取組が5項目、合計41項目ある。それを少人数で対応しなければならず、そのうち半数は定着せず1年程度で入れ替わっている状況があり、体制として課題がある。将来的に職員配置定数を増やし体制を整備していくのか、また、処遇改善加算の実施状況をどのように確認しているのか。

(事務局) 本年度、各業務の所用時間など業務量調査を開始しました。業務量調査は、問題点を把握し、適切な解決方法を検討することを目的に実施しています。あわせて、包括の次期公募に向けて調査をしており、必要な業務が確実に実施できるような体制整備に取り組んでまいります。また、処遇改善加算の使途等については、包括の運営法人に直接確認をしており、ボーナスに加算するなど給与に還元している法人もあります。また、職場環境の改善として訪問用の自転車の配置や、研修の受講費用など様々な形で活用されています。今後も、包括職員の定着に向け引き続き適切な支援をしてまいります。

(坂本委員) 法人内の他部門の職員との整合性を図るため、包括職員の給与を上げにくい状況がある。福利厚生に充当しているというが、福利厚生は法人所属職員に対して行うことであり、処遇改善加算を福利厚生に充当することは適当でないと思う。包括の職員を確保するには、給与を上げるしかないと考える。給与が高ければ良い人材も集まり、定着もするため、処遇改善加算が確実に反映されるよう市が厳しく指導してほしい。法人内職員との給与の差が出ると思うが、包括手当などとし、適切に還元されるようにしてほしい。

(水上会長) 給与の調査など具体的にできるのか。

(事務局) 処遇改善加算については、活用状況など具体的な回答を求めています。金額は運営法人により異なるが、実情を十分に把握しながら、処遇改善加算の趣旨を運営法人に伝え、包括職員の定着に取り組んでまいります。また、地域包括ケア推進課長を中心に毎年1回実施している運営法人へのヒアリングを現在行っており、運営法人責任者等と意見交換を行っています。

(穂刈委員) 全国統一評価指標による地域包括支援センター等の事業評価の中で地域ケア会議の評価が低かったのは、包括は限られた人員の中で様々な業務に取り組んでおり、人員が不足していることが1つの原因だと考えられる。地域ケア会議地域づくり部会の主旨は、地域全体の問題を地域全体で取り組むことだと理解している。現在は、包括の業務として委託しているが、地域で取り組むという主旨であれば、地域の中で一番活動をしているのは市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）や地区社協であるため、包括の現状を踏まえると地域ケア会議の機能を地区社協に委託してはどうか検討をしていただきたい。

(事務局) 地域ケア会議に関する業務は、包括と市社協に現在委託しています。包括と市社協が連携しながら地域づくり部会を運営している状況であり、現時点でも市社協に業務の一部を担っていただいております。また、地域づくり部会については、地区社協・地区自治会連合会・地区民生委員児童委員協議会・地区老人クラブ連合会の4団体が必須団体となっており、地区社協を含め地域の皆様にご協力をいただき運営をしている状況です。

(穂刈委員) 包括の限られた人員の中で、地域ケア会議地域づくり部会の業務を行うことは包括に負荷がかかり過ぎていると思う。事務局機能などは、本来の包括の業務なのかと疑問に思うため、事務局機能を移管するなど検討をしていただきたい。

(事務局) いただいたご意見を踏まえながら、より良い運営に努めてまいります。

(小林輝明委員) 地域のことを考える会議は他にもあり、会議の主旨が重複しているという意見を耳にする。地域づくり部会を地区社協に委託するなどの結論は出せないかと思うが、地域づくり部会を8年間やってきて様々な地区の課題が出てきていると思う。それを振り返り、検証しながら、組織体制も含め今後どのような在り方が良いかなどを検討する場を設けてほしい。

(事務局) 全ての地区ではないが、まちづくり会議と地域づくり部会が同テーマを検討している場合など、相互に連携し検討しています。いただいたご意見を踏まえ、より効果的な運営ができるよう検討を進めてまいります。

(坂本委員) 地区社協は、地域づくり部会に市社協が関わっているため、円滑な連携を行うことが出来ていると感じている。また、市社協は長年の歴史があるが、包括は歴史が短い。そのため、包括と市社協が連携して運営していく形が適切ではないかと思う。

(事務局) 包括の認知度が十分ではないというご意見を前回もいただいていたことから、ホームページの包括紹介ページの充実を図りました。今後は動画を入れるなど包括の認知度の向上にも引き続き取り組んでまいります。また、様々な機関との連携が重要だと考えているため、包括としても適切に取り組んでまいります。

(水上会長) 先日、橋本地区の地域づくり部会に参加した際にも、包括へどういう時に相談するのかなど、包括の認知度や周知が市民に対して不足しているのではないかと議題に出ていた。いずれも地域のための組織であるため、支え合って、市民のために寄り添っていければ良いと思う。

3 報告

(1) 地域づくり部会から地域包括支援センター運営協議会への提案について
事務局より資料に基づき報告を行った。

(2) これからの短期集中予防サービスについて

事務局より資料に基づき報告を行った。意見等は次のとおり。

(佐藤委員) 良いサービスだと思うが、実際に何件の利用があったのか。

(事務局) 昨年度は、36件の利用がありました。

(佐藤委員) 市民としての意見だが、「リエイブルメント」という言葉わかりにくいと思う。高齢者自身が、当事者という意識を持って自分がどうしたいのかを考える機会を増やしていく必要があると思う。団体の担い手が高齢化しているというのは、当事者が繋がっていると考えることができる。短期集中予防サービスを利用した人が団体内などで自分の経験を語るなど、当事者が参加することを考えてほしい。また、地区社協が全ての地区にあり、公民館もあるというのは有益な社会資源だと思う。

(事務局) 当事者の経験談はとても貴重なため、そういった経験を語り合える場の創出等を今後検討してまいります。

(水上会長) 新規の要支援認定者は1年間で何人か。

(事務局) 新規の要支援認定者は、約7,000名で、短期集中予防サービスを来年度利用する予定の方は、800名を想定しています。

(水上会長) より良い取組としていくため、フィードバックができるように対応してほしい。

(3) 相模原市地域のおでかけサポート活動報告会について
事務局より資料に基づき報告を行った。

(4) 相模原市地域包括支援センター運営協議会委員の推薦依頼等について
事務局より資料に基づき報告を行った。

(5) 第9期相模原市高齢者保健福祉計画(案)について
事務局より資料に基づき報告を行った。

4 閉会

以上

相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿 令和6年1月26日開催

No.	氏名	ふりがな	選出団体等	出欠	備考
1	石井 和子	いしい かずこ	相模原市民生委員児童委員協議会	出席	
2	石川 寿美子	いしかわ すみこ	相模原市介護老人保健施設協議会	出席	
3	梶山 和美	かじやま かずみ	神奈川県看護協会相模原支部	出席	
4	栗田 愛子	くりた あいこ	公募市民	欠席	
5	黒沢 慎五	くろさわ しんご	さがみはら介護支援専門員の会	出席	
6	小林 輝明	こばやし てるあき	相模原市社会福祉協議会	出席	
7	小林 立	こばやし りゅう	相模原市高齢者福祉施設協議会	欠席	
8	坂本 洋三	さかもと ようぞう	相模原市地区社会福祉協議会	出席	
9	佐藤 優子	さとう ゆうこ	公募市民	出席	
10	澤田 弘之	さわだ ひろゆき	相模原市薬剤師会	出席	
11	田中 雄一郎	たなか ゆういちろう	相模原市歯科医師会	欠席	
12	畠山 秀美	はたけやま ひでみ	相模原市老人クラブ連合会	出席	
13	幡野 公香	はたの きみか	神奈川県社会福祉士会相模原支部	欠席	
14	原田 裕也	はらだ ゆうや	神奈川県弁護士会相模原支部	出席	
15	久松 信夫	ひしまつ のぶお	学識経験者	出席	副会長
16	舟戸 麻衣	ふなど まい	日本公認会計士協会神奈川県会	欠席	
17	古木 玲子	ふるき れいこ	公募市民	欠席	
18	穂苅 健二	ほかり けんじ	相模原市自治会連合会	出席	
19	水上 潤哉	みずかみ じゅんや	相模原市医師会	出席	会長
20	本村 直子	もとむら なおこ	友知草の会	出席	

五十音順